

# 令和5年度 あいけいだより



第2号



## 愛恵協会で栽培している作物



すいか



おでん大根



そうめんかぼちゃ



さつまいも



干し芋



キャベツ



人参



ネギ



大根



発行: 社会福祉法人 愛恵協会 広報・渉外委員会  
岡崎市舞木町字小井沢4番地1  
TEL(0564)48-2055 FAX(0564)48-5426

発行日 令和6年3月6日

# 法人・部門 事業計画・運営方針振り返り



社会福祉法人 愛恵協会  
理事長 三浦 博幸

今年度は障がい者支援事業所の不適切処遇や虐待がマスコミを賑わせました。福祉に対する量、質に対する要望の高まりを感じました。その一方で停滞していた企業の給料引き上げの動きが目立つ中、給与規程の見直しを同時に福祉業界全体での国・地方自治体への働きかけにも参加してきました。

又、今年の元旦には能登地震で大きな被害がありました。こんな時こそ日頃社会に支援して頂く事の多い愛恵協会は、募金活動、DCAT(災害時職員派遣体制)で職員を派遣しました。支援の継続は長期に亘るのでこれからも可能な支援活動を心掛けてまいります。以下令和5年度の事業計画毎に振り返ってみます。

**一、地域交流のシンボルである「なかしばゾーン」の活用を図ります。**

各事業所が定期的に活用するようになってきました。倒木や雨水等による周辺住民に迷惑をかけない整備にも努めました。今後は事業所交流や住民交流の活動を一步一步進めていきます。

**二、幸田町・岡崎市東部において子ども食堂、学習支援等の生活困窮者支援事業の体制を充実させます。**

幸田町では職員体制増によりフードバンク事業等の充実が図れました。岡崎市東部においては八月から子ども食堂(ベロちゃん家)が開所できました。今後は子ども食堂開所日数増等職員で工夫して取り組みます。

**三、グループホームの体制を見直しと共に新たな整備を図ります。**

グループホームわかまつは老朽化で廃止による利用者の転居先決定も円満に進めることができました。利用者の地域生活に欠かすことができない住居については検討会を核とした体制で進めていきます。

**四、農業関連事業を推進します。**

あいけい市や農福連携会議を通してセルブ事業所等職員の周知が図れました。農福連携会議を核とした耕作放棄地の活用増や幸田町では行政との連携による花づくり推進を進めます。又、農業加工品では愛恵ブランド品が量産される事を期待しています。

**五、働きやすい職場づくりに全職員が取り組みます。**

計画的な年休取得や介護・育児休暇を認める雰囲気が出てきているように感じます。今後も全員参加で取り組みたい。当事者意識の醸成を進めます。

以上今年度の振り返りでの気付きは来年度の事業計画に活用していきます。皆様方の御支援、御協力を宜しくお願いいたします。

令和六年一月四日 新年会  
今年の漢字 歩



財務・総務担当

杉山 直人



社会福祉法人が安定した運営を行っていくための人件費比率は、六十〜七十%と言われています。この数値は事業の内容にも異なりますが、愛恵協会の現在の人件費率は約六十八%です。一部の法人では人件費率を抑えるため不正請求等により収入操作を行い問題となっておりませんが、愛恵協会では監査等により適正運営であるとの官公庁のお墨付きを得ています。また、大きなコロナクラスターとなった社会福祉法人では人件費率七十%を超え、経営に支障をきたしていると聞いています。愛恵協会でもクラスターを経験しましたが、七十%以下に収まっていることは、職員各位の努力の賜物と感謝いたします。

コロナ禍、職員が意欲を持って働き続けられるよう職員給与の見直しを十月に実施しました。これは最低賃金の改定による給与表の改正ですが、併せて現在、昇給額の見直しも含めた給与規程の改定を準備しており、令和6年3月の理事会承認をもって、4月1日付けで施行予定です。

また、夏季及び冬季賞与においても職員各位の業務努力により前年・前々年を上回る支給ができたことに感謝いたします。

次に、中期計画3「共同生活援助事業の運営」については、現状の課題と対応について専門委員会を検討を重ね、グループホームの整理・整備を行いました。しかし、今回の課題解決だけでは一過性に終わることが懸念されます。将来に渡り愛恵協会として担当職員が目指すべき方向性を持って職務に従事することができるようになるためには、早い段階で「愛恵協会グループホームの在り方ビジョン」を提示したいと考えています。

引き続き、職員が安心して生き活きと働ける事業運営に努めます。



職員教育・福利厚生管理担当

岡本 志朗



担当業務は職員教育、第七宿所活用です。職員教育としては、新規採用者研修を法人の事業概要を知ることと目的として実施しました。九名の職員に対して行い、法人全体を把握して、所属施設の役割について理解してもらいました。

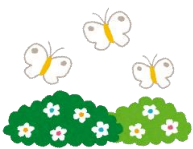
また交流研修を他施設の業務経験から現業務への気付きを得ることを目的として実施しました。参加した六名の職員は研修の目的を理解し目標を立て、目標に対する事前学習から課題を設定して取り組みました。研修後には自己評価と管理者評価を受け業務改善に活用しています。

さらに法人外研修については、研修予定表を職員交流スペースに掲示することにより、法人全体の研修内容が分かるようにしました。

また社会福祉士・精神保健福祉士等の資格者の一覧も掲示しています。これは職員の研修受講や資格取得の意欲喚起に資することも目的としています。

第七宿所の具体的な活用として、一階の三部屋に必要最低限の設備改修として共同浴室及びトイレ、三部屋にエアコン設置を行いました。

今後、緊急一時宿泊、生活施設退所前の生活訓練での使用を想定して、公益事業に位置付け、定款変更を行い、積極的に活用します。





人事・労務担当

山口 昌宏



人事について令和五年度四月一日付で常勤職員(愛恵園・あい・輪輪を採用しました。年度途中に、職員の育休産休の取得や病気療養のため、適時職員の募集を行ない、必要とする職種の求人活動をハローワークやネット求人を通して行いました。またトライアル雇用を行なう事で、障がい者の雇用も実績をあげる事ができました。

労務につきましては、令和四年度に、育児介護休業法が改正され、男女ともに、仕事、育児を両立できるような、パパ育休制度が創設され、今年度は、この制度を活用する事ができました。子どもでサポート企業として「くるみん」マークの認定や、職員が仕事と家庭の調和を図っている企業として「ファミリーフレンドリー企業」として登録しております。

また、法人事業計画の働きやすい職場づくりに全職員が取り組める様に、各々の職員が活気があり意欲的に仕事に従事できるように職場環境を整えていきたいです。



愛知県ファミリー・フレンドリー・マーク

生活保護部門

部門長 末崎 彰規



❖ 「愛恵園」

法人事業計画㊦である岡崎市東部でのこども食堂運営を八月から開始しました。当初は子供を対象としておりましたが、地域交流の場となるよう対象を限定せず「地域食堂」の理念を進めております。回を増すごとに参加者も増え、アレルギー対応のカレーライスやマスコット犬の「ペロ」とのふれあいも特色の一つとなっております。山中小学校や東部地域福祉センター等の御協力を頂いております。

❖ 「岡崎市生活困窮者自立相談支援事業」

就労準備支援事業に積極的に取り組み、トレーニング協力企業を令和四年度と比べて倍近くに増やすことができました。また、活動について、ふれあいショップでの販売だけでなく、食糧支援のためのお米の小分けや回収された不要な衣服のサイズごとの仕分けなどにも取り組むようになりました。このような活動だけでなく、年末には活動の場を確保し、大掃除と忘年会などの行事を行い、少しずつですが、活動が活発になっている状況です。

❖ 「愛恵園授産所」

今年度は、利用者の意欲向上を多く感じる年でした。一般就労で退所した利用者に触発されて、「自分も!」と、就職活動を始め就職や就労継続A型に移行された方、自主製品開発として菓子製造のレシピ考案を積極的に取り組む方、休日開催のマルシェ、喫茶プログラムの店番やあいけい春まつりや運動会でスタッフとして参加、また健康管理への意識を高めた方など。

さらに岡崎市委託事業からジョブトレーニング(就労体験実習)を積極的に受入、実習生のやりがいにも深く貢献出来ました。授産活動では他法人と農福連携で協力しあい、法人外のマルシェに出店をしました。それをきっかけに新規企業や、近隣農家との繋がりが生まれて、豆腐の白玉団子の作成や、農家の米を使った五平餅作成など、新たな取引が始まっています。これからも、利用者さんのやる気や生きがいに繋がるような取り組みを進めていきます。



### セルプ生活介護部門

部門長 鈴木 慎二郎

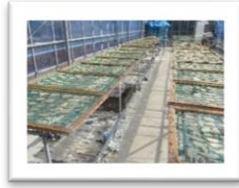


セルプ生活介護部門では、利用者の確保や利用率の向上に努めます。生活介護では、安心して過ごせる場の提供とプログラムの充実に取り組み、就労継続では活発な授産活動と農業関連事業による社会参加を推進し、これを担う職員が継続して働きやすい職場を構築して参りました。

愛恵ワークスでは、支援方法の勉強として職員が虐待防止身体拘束適正化研修を受講しました。

舞木ワークスでは、「舞木の芋切」四〇〇袋製造を目標として、芋を栽培し、現在、釜炊きをして順次、天日に干しております。

### 干し芋 天日干し



### 選別カット風景



ステップやまなかでは、福祉サービス第三者評価を受審し、サービスの向上に努めております。又、男性職員一名がパパ育休を取得し、働きやすい職場を推進しております。

### 第三者評価勉強会



てんじん生活介護では、新規の利用者二名の受入れを行い、一日平均利用人数二十人を目指しております。就労継続の自主製品販売(てんじん弁当)では、食品衛生管理優秀店のシルバー認定を受けました。引き続き各事業所連携しながら取り組んでいきますのでご理解とご協力をお願いします。

### てんじん弁当優良店



### 生活訓練部門

部門長 泉 陽一郎



令和五年度、生活訓練部門の運営方針は法人理念(愛恵宣言)に示されている「利用者一人ひとりの当たり前の生活ができるよう公益事業も含めた幅広い活動に取り組み、「誰一人取り残さない」を意識し、重層的な支援が提供できるように努める」としてまいりました。

生活訓練事業所あいでは、「誰一人取り残さない」を念頭に置き、当事業所の利用希望者がいた場合、積極的に体験利用の機会を提案しました。結果、通年で八十%以上の利用率を維持することができそうです。また、築二十四年が経過した施設の大規模修繕に着手することができました。

あいけいホームでは、令和五年度に公益事業へ移行した「共同生活住居わかまつ」の運営及び利用者さんの地域移行が完了しました。また、あいけいホーム新規利用希望者の受け入れを行う為、ホーム全体の体制を見直し、受入れを実現することができました。法人特別委員会「共同生活援助検討委員会」では、日本財団の「みらいの福祉施設建築プロジェクト」への応募(二次審査で落選)や、将来の共同生活援助事業の在り方について方向性(案)をまとめることができ、来年度以降の中期計画実現に向けて取り組んでまいります。

おたまじゃくしは、新規契約ヘルパーにより、実働時間の増加となっております。特に、新型コロナウイルスが五類に移行することで、コロナ禍以前と同水準の外出支援を提供することができています。引き続き、余暇支援に力を入れた事業運営を心がけます。

生活訓練部門は「生活の場を支援する」部門です。課題が多い部門ではありますが、令和六年度の障害者総合支援法改正を踏まえながら、より多くの方に「愛恵協会があつてよかった」と感じてもらえる事業運営を心掛けていきます。



生活訓練事業所あい  
大規模修繕の様子



相談部門

部門長 青木 裕美



相談部門では、支援を必要とする利用者が地域で安心して生活・就労・余暇活動を行うことができるように、法人内や地域の関係機関と連携し、支援に取り組んでいます。相談支援事業においては、ここ数年、コロナ禍で利用者や関係機関の方々と会う機会に直接会って一緒に考える時間を多く持てたことが良かったと感じています。

西三河就業・生活支援センター輪輪では、「働く仲間の交流会」「ピアサポート活動」を行いました。いずれの活動も多くの登録者が参加し、調理実習やランドゴルフ、ボリリングなどの活動や勉強会を通して、仲間同士の交流を深めることができました。

生活支援センター山中では、調理実習、お菓子作り、創作活動等の日々の活動に加え、大河ドラマ館やセントレア等への外出プログラムも行いました。久しぶりに皆で外出することができ、楽しい時間を過ごすことができました。

障がい者グループホームに関する問題への対応や障がい者の法定雇用率改正に向けた企業との連携等、相談部門では引き続きの取り組みが必要な課題も多々あります。地域から信頼され、必要とされる事業であるよう、努力を重ねてまいります。

【センター】  
外出プログラム



【輪輪】  
交流会・勉強会



幸田部門

部門長 倉橋 貴志



つどいの家は地域活動支援センターとして幸田町運営時から利用者も多く、障害福祉サービスにとどまらず、介護保険とのつながりを考慮して、センターの活用が必要な方に対しても障害特性も含め、当事者が一つの居場所として講座プログラムを中心に充実した生活を意識して取り組んでいます。

つどい作業所就労継続支援B型事業は授産活動においての収入は現状を維持することができていますが、新たな就労活動への取り組みとして幸田町と協働での園芸福祉（花栽培など）の取り組み準備を行っています。職員は園芸福祉士養成講座の研修に参加し理解を努めています。生活介護は近年、強度行動障害のある方の受け入れが全国的にも課題となっており、つどい作業所においても同様のため、日々の対人援助の勉強会や強度行動障害の基礎研修に職員は複数参加し、幅広く幸田町及び近隣の対象者の受け入れを行っています。また、公共施設や地域のスーパーなど地域の社会資源を活用し社会参加を意識した活動に取り組んでいます。

幸田町生活困窮者自立支援事業はコロナが第五類となり低所得者向けの特例給付金や貸し付けの特例もなくなったこともあり、中長期的な対象者は依然多くいるのが現状です。幸田町地域では産業が豊かであり、その主要産業である株式会社デンソー様にはフードドライブの協力をいただいております。幸田町環境課においては、坂崎地区住民と月一回のフードドライブに協力していただき、経済的に課題のあるご家庭に食糧支援を行うことや子ども食堂にて活用させていただいております。

生活支援センターこうたは幸田町北部地域（相見駅周辺）の住民の増加により障害児を中心とした相談者が増加傾向にあり、相談の質、量の担保ができるよう研修参加や職員の増員など体制整備に取り組んでいます。

幸田町基幹相談支援センターは虐待防止法の観点から地域の事業所に向け虐待防止に関する啓発活動と実際に幸田町住民の中心で対象の方がいた場合、福祉課と協働し策を講じております。今後とも幸田町地域住民や各連携機関とともに法人の強みを活かして充実した支援に努めてまいります。



## 事務局

事務局長

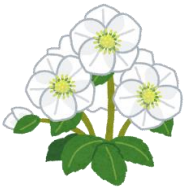
成瀬 昭仁



令和五年度は新型コロナウイルス感染症の位置付けが五類へと移行し、各事業所の動きも、まだ以前程ではありませんが活発になりつつある年となりました。

その中で今年度経理上大きく変化したのはインボイス制度のスタートです。愛恵協会も一般の企業と同じく消費税を納税している事業所の一つでありますので、この制度の導入はかなりの影響を受けました。インボイス制度に対応するため、令和四年十月頃より、登録事業者への申請や各事業所の職員と共に勉強会を開きました。それを引き継ぐ形で、令和五年五月には特別委員会としてインボイス委員会を立ち上げ、消費税と制度の概要の理解や請求書、領収書などの文書を整理して共通化し制度施行に備えてきました。おかげさまで現在は大きな問題になっていないところは出ておりませんが、実際の申告と納税は決算後となることから、今後の成り行きを注視していく必要があります。

一方総務グループの方では、愛知県の最低賃金が改正されたことにより、職員の時給を変更する必要が出たことや、令和六年度の給与改定に向けた動きが活発になってきており、それに対応するために、日々調整作業が行われております。すべての職員が希望を持って事業に取り組める職場環境づくりをテーマに、出来る限りの体制を整えていきたいと考えております。行事予定や各事業所からのトピックスなど様々な情報は、あいけいホームページにて発信しておりますので、皆様時間のあ



## 【パパ育児制度利用者の紹介】

令和四年度からとり組みがされており、今年度はステップやまなかの職員が愛恵協会二人目となる育児休暇取得者となりました。

\* 期間：令和六年九月五日から令和六年十一月五日\*

## 一、なぜパパ育児制度を利用しようと思いましたが？

嫁さんが妊娠してすぐ「育児を取ってほしい。助けて欲しい」と言ったからです。大好きな人のお願いなので、迷いませんでした。それに私自身が、育児を嫁さんだけをお願いするのは、おかしな話だと思っていました。仕事は他の人ができて、自分の娘の育児は父親の私にしかできない。そんな思いでした。

## 二、制度を利用してどうでしたか？

取得して良かったと断言できます。育児をやるのは、本当に大変です。自由時間は全くなく、夜中に泣き声で起こされて、睡眠時間も削られます。最初の一か月は嫁さんもまともに動けなかったのです。授乳以外は全て私がやる気持ちで取り組みました。

## 三、その他言いたいことがあればお願いします。

育児制度利用に対しては個々の家庭の考えがあるため、必ずしも取得したほうがいいとは限りません。けれど、自分の場合は嫁さんの願いをかなえることができましたので本当によかったです。また、この制度がある協会に感謝します。



# 令和5年度あいけい運動会

今年度の運動会は令和5年10月14日(土)に行われました。  
 晴天に恵まれ、運動会日和となりました。  
 今回のテーマは「新たな一歩未来へのステップ」です。  
 テーマの通り新しい体制を取り入れた運動会となりました。



## 第39回あいけい運動会

♥ 新たな一歩未来へのステップ ♥

### 午前の部

- 開会式
  - 開会の辞(原田実行委員長)
  - 理事長挨拶
  - 来賓祝辞
  - 来賓紹介(祝電披露、協賛品紹介)
  - 選手宣誓(杉田勇樹・小川裕子)
  - ラジオ体操
  - 退場
- 三河高校 よさこい演舞
- ALL in玉入れ
- じゃんけんぽんGO
- 綱引き
- 借り人競争
- リレー
- 山中小唄



### 午後の部

- 閉会式
  - 成績発表
  - 表彰式(三浦理事長)
  - 講評(杉山理事)
  - 閉会の辞(柵木副実行委員長)
  - 各チームにて記念品配布



## 青組優勝

競技名	青	赤	白
オールイン たまいれ	30	10	20
じゃんけん ぽんGO	85	65	175
つなひき	14	20	10
かりびと きょうそう	5	10	7
リレー	32	37	13
	241	262	247.5
総合得点	166 407	142 404	125 372.5



ペロも 整列



新型コロナウイルス感染症が五類に移行後初めての運動会でした。今年、第三十九回を迎える運動会のテーマは『新たな一歩、未来へのステップ』とさせていただき新たな取り組みをさせていただきました。

一つ目は昨年の意見を踏まえ運動会自体の時間を短縮しました。当日の天候は想定よりも穏やかで体調不良の方がなく、無事に終えることができました。

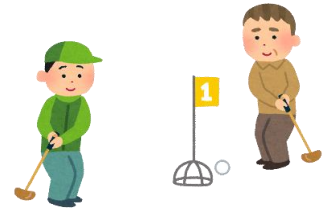
二つ目はチーム編成を所属ごとに編成しました。同じ事業所の仲間同士のきずなや団結力がチーム内に感じられました。中でも例年は職員起用だった応援リーダーを利用者さんとし、競技だけではなく運動会そのものを盛り上げ楽しんでいただけの姿を見ることで感じたのは実行委員として達成感を感ずりました。

来年は四十回の節目になります。このステップが法人と地域を繋ぐ架け橋の一つ、行事の歩みになれば幸いです。新たな試みにより不手際も多くあったと思いますが、「楽しかったよ」のお声をいただけましたことはひとえに職員、日頃から応援して下さる地域の皆様方並びに当日ボランティアの皆様のご理解とご協力の賜物です。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございます。

運動会実行委員長  
原田涼子



# グラウンドゴルフ大会 第8回なかしぼ杯



大会日程予選：10/30～11/10 決勝：11/23



## グラウンドゴルフ大会 第8回なかしぼ杯



多機能事業所でんじん 本田麻衣さん 作

練習試合日程 令和5年10月2日(月) ～ 令和5年10月27日(金)  
予選 令和5年10月30日(月) ～ 令和5年11月10日(金)  
利用者決勝 令和5年11月23日(木) 雨天⇒ 令和5年11月24日(金)  
13:00開始(終了予定は14:30頃)  
同日、理事ドリムチーム・親の会・弥栄会によるエキシビジョン予定  
場所 なかしぼグラウンドゴルフ場



今年度はつどい作業所の  
"チャーシューメンチーム"が  
優勝しました。  
おめでとうございます！



第八回グラウンドゴルフ大会が令和五年十一月(木)に開催されました。感染対策を行いながら、施設ごとの予選結果をもとに各部門の代表チームによる決勝戦を行い、約三十名ほどの方が参加をされました。今年度は、決勝戦は利用者さんのみ四チームの対戦とし、優勝したチームがエキシビジョンマッチとして、親の会チーム、弥栄会チーム、理事ドリムチームとの対戦を行いました。各施設の練習から始まり、予選・決勝戦とも楽しんでプレーする中、真剣さも伝わりました。また、決勝戦ではプレーしているチームを一生懸命に応援する姿もたくさん見ることができました。親の会の方や弥栄会の方も参加してくださり、充実した行事になったのではないかと思います。今後皆様と一緒に楽しめる行事であればと思います。

グラウンドゴルフ大会実行委員長  
石川貴吉



# 幸田シンフォニックバンド定期演奏会

開催日 12月9日(土)

幸田シンフォニックバンド演奏会が行われました。第一部は軽快な演奏を楽しんで、第二部は各施設の希望を取り入れた曲をカラオケしたり、振り付けをして盛り上がりました。楽器ひとつひとつの音が響き渡り、会場が一つになりました。



## 演奏曲

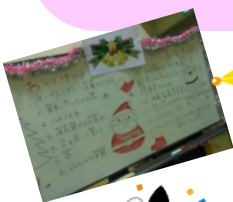
- 1部 ・ 紅蓮華
- ・ 楽曲紹介のためのファンタジーメドレー
- ・ どうする家康メインテーマ～暁の空から
- 2部 ・ バリチューアンサンブル
- 3部 ・ パプリカ
- ・ 津軽海峡冬景色
- ・ 世界に一つだけの花
- ・ WAになっておどろろ
- アルコール
- ・ マツケンサンバⅡ



# クリスマス会

開催日 12月16日(土)

恒例の愛恵協会クリスマス会が開催されました。100名近い利用者さんや保護者の皆さんで会場はいっぱいになり、とてにぎやかでした。楽団ホットアンサンブル様にいろいろ曲を演奏していただきました。しっとりと演奏に耳を傾けたり、いっしょに歌ったりと楽しいクリスマス会となりました。帰りには帽子と引き換えにお菓子のプレゼントを配りました。





# あいけい市

農業推進の一環として定期開催している「あいけい市」は令和5年度も継続して開催しております。施設で栽培した野菜、その野菜を使用した自主製品を販売し、愛恵協会の農業への取り組みをアピールしています。今年度は岡崎市が発行した「農業応援チケット」の取り扱い登録をおこない、あいけい市でもご利用頂きました。愛恵協会は引き続き農業を推進して参ります！



## 令和5年度 あいけい市 開催実績

4月28日(金)	10月27日(金)
5月20日(土)	11月24日(金)
6月23日(金)	12月22日(金)
7月28日(金)	1月26日(金)
8月25日(金)	2月23日(金)
9月22日(金)	3月22日(金)



ボリューム満点



## 子ども食堂



令和5年8月より愛恵園にて子ども食堂を開始しました。当初は土曜日でしたが、要望により12月の毎月第3日曜日の11時30分から、カレーライスを提供しています。回数を重ねるごとに参加者が増えて、今では地域の交流の場も兼ねるようになりました。愛恵園で飼育されているマスコット犬「ペロ」とのふれあいも楽しみのひとつになっています。



みんなに会えて  
うれしいよ♪



ペロ





## 【 福祉車両 寄贈 】

令和6年2月29日(木)に愛知県社会福祉協議会様より福祉車両"トヨタシエンタ"を頂きました。主に通所施設で送迎等に使用します。厚くお礼申し上げます。



## 【 親の会バスツアー 】

令和5年11月4日(土)に3年ぶりに親の会バスツアーが行われました。総勢84名の参加、行き先は浜松フラワーパークを見学、ダイヤロイヤルホテルで食事をして、その後は蒲郡オレンジパークでみかん狩りをしました。楽しいひと時を過ごすことができました。



## 【 あい棟 修繕工事 】

築24年を経過したあい棟の大規模修繕工事が令和5年11月から令和6年3月に行われています。令和5年度岡崎市社会福祉施設整備補助金を活用し、建物全体の外壁や屋上防水の修繕を実施しています。また、法人のシンボル「スリーハート」を屋上の壁面に新設します。



整備費総額

51,700,000円

補助金予定額

36,307,000円

自己負担額

15,393,000円